

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-2-3		事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業				
担当	経済局産業振興部経済企画課 濱 211-2352							
全体計画								
事業内容	近年、団塊の世代が大量に定年等で退職しており、少子化傾向と併せて労働力人口が減少していく傾向にあるが、団塊の世代の知識や経験、ノウハウ、技能を活かして創業することも、社会貢献の一つとして注目されており、団塊の世代を中心とした高齢者の開業が増加傾向にある(2006年中小企業白書)。 また女性の起業の実現率は男性より高いものの廃業率も男性の約2倍であり、男性に比べて起業や経営に係る知識・ノウハウや有用な人的ネットワークを形成するチャンスが少ない傾向がある(2006年女性労働白書)。 これらの実態を踏まえ、(財)さっぽろ産業振興財団が主催となり、従来セミナーの内容・回数を拡充させるとともに、女性や概ね55歳以上のシニア世代の起業希望者を対象にハンズオン型の企業支援の場である「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」を実施する。			<年度別の事業内容>				
				・団塊の世代、女性に特化した起業セミナー 19年度 2回 20年度 20回 21年度 10回 22年度 10回 ・女性・シニアのためのさっぽろ起業道場の開催 20年度 3期開講 21年度 3期開講 22年度 3期開講				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	(財)さっぽろ産業振興財団において、「女性起業家セミナー」及び「シニア創業セミナー」を各1回開講した。延べ25人が受講。			(財)さっぽろ産業振興財団への補助金 ・女性・シニアのためのさっぽろ起業道場 5,000千円 講義は各期全10回 定員は10名程度。 第1期(平日夜間コース) 平成20年6月18日～7月25日 第2期(短期集中コース) 平成20年8月20日～8月29日 第3期(休日土曜コース) 平成20年9月27日～11月8日 ・セミナー(定員30名程度) 女性の起業説明会 6回 女性の起業体験談 4回 シニアの起業説明会 6回 シニアの起業体験談 4回				
達成目標の状況								
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計)		2回	2回	25回	38回	51回	26回	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
市民との連携、市民参加 セミナー・起業道場の受講を募るべく広く団塊の世代及び女性の市民に公募することで、市民参画に貢献。 企業等との連携・協働 [資金協力]創業の際は各種制度により資金サポートを実施 [人材協力]講師などが伴走しながら、起業に関する知識・スキルを指導 [情報協力]セミナー・起業道場において起業に関する情報を提供 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各種媒体を通じて、広く受講者を公募することで、市民が参加しやすい環境づくりを実施。								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-2-3		事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業		
評価(成果)			課題			
<p>「女性起業家セミナー」及び「シニア創業セミナー」を各1回開講した。延べ25人が受講し、起業に関する情報提供に貢献した。しかし、起業を具体的に検討している市民に対しては、より個別具体的な支援が必要であり、平成20年度はハンズオン型の企業支援の場である「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」を実施予定。</p>			<p>団塊の世代及び女性の市民を対象を特化し、潜在化している起業ニーズを具体化させ、セミナーや起業道場を受講させるためには、より効果的なPR方法を行うことが必要。他支援機関とも連携を従来以上に強化し、より多くの会社創業を実現させていくことが課題。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>毎年度の事業の結果を見極めつつ、より効果的な支援方法を検討し、起業後のフォローも含めた、一貫した支援体制を構築していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	5,000	5,000	5,000	15,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	6,000	-	-	6,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				40.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
<p>(全体) 内容を見直し、より多くの市民に受講機会を与えるために、セミナー回数を増やした。</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度]当初予定通り実施</p>						